

7 アスベストの調査結果

(1) 調査の概要

ア 目的

各種建材や自動車のブレーキ等に使用されているアスベストについて、住宅地域や商工業地域、幹線道路沿線における環境濃度の測定を実施している。

イ 調査方法（試料捕集）

(ア) 調査期間

調査地点ごとに平日昼間の連続する3日間

(イ) 捕集時間

1日につき、流速10L/分で10時から16時のうちの連続4時間通気して捕集する。

(ロ) 捕集高

地上高約1.5m

(ハ) 捕集方法

吸引ポンプ、メンブランフィルターを用いて捕集する。

(2) 調査機関

鹿児島県、鹿児島市

(3) 調査結果(平成29年度)

地域区分	調査地点	採取期間	アスベスト濃度(本/L)	
			範囲	幾何平均値
住宅地域	株フタマタ開発敷地 (鹿児島市西伊敷七丁目)	H30. 1. 29 ～ 1. 31	0. 22 ～ 0. 39 ^{注)}	0. 28 ^{注)}
	霧島局 (霧島市国分中央五丁目)	H29. 12. 18 ～ 12. 20	<0. 19	<0. 19
商工業地域	七ツ島周辺 (鹿児島市七ツ島一丁目)	H30. 1. 29 ～ 1. 31	0. 11 ～ 0. 17 ^{注)}	0. 12 ^{注)}
幹線道路沿線	鴨池局 (鹿児島市鴨池二丁目)	H30. 1. 29 ～ 1. 31	0. 22 ～ 0. 34 ^{注)}	0. 27 ^{注)}
	薩摩川内自排局 (薩摩川内市御陵下町)	H29. 12. 18 ～ 12. 20	<0. 19	<0. 19

備考 ・ 特定粉じん発生施設の敷地境界における基準は、10本/Lである。

・ 幾何平均値を求める際には、検出下限値未満については、検出下限値で算出した。

注) 総繊維濃度(本/L)を記載。